

新執行部体制のもとで事業の 拡大と組織の強化を目指す

ACTIVE KUMIAI



退任の挨拶を行う
長澤利久前会長



就任の挨拶を行う
武田信彦会長

山梨県食品産業協議会（事務局・中央会）の通常総会が8月27日に中央会研修室において開催され、平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度事業計画・収支予算等が審議された。

また、役員の変更が行われ、平成18年より8年間会長を務めた長澤利久会長（山梨県精麦工業協同組合理事長）が退任、新たに武田信彦副会長（山梨県味噌醤油工業協同組合理事長）が会長に、北原兵庫前理事（山梨県酒造組合会長）が副会長に就任した。

総会終了後の研修会では、今年度より賛助会員となった厨房機器の販売会社であるホシザキ東京株式会社山梨支店（外山正支店長）の親会社の業務用厨房機器メーカーであるホシザキ電機株式会社の石渡幸則営業本部長が「食品加工における衛生管理への取り組み」と題する講演が行われた。講演では、これまで食品加工の現場において使用されてきた次亜塩素酸ソーダに替わって、安全で殺菌効果が高い強酸性電解水による消毒方法について、その利用方法、利用分野と今後の展開について説明され、食中毒防止、食材の下処理において効果的であるため、各事業者への導入が期待される。

当協議会の発足当時は農林水産省からの事業費の補助があったが、補助金がカットされ自己財源による活動となつてからは、会員数が減少し、事業が縮小傾向にあった。

今年度は、毎年会員企業が出展している「こだわり食品フェア」への出展企業に対する補助金額をアップすることが決議され、ブース数の増加や飾り付けの工夫を行うことにより、会の存在感を高め、活動内容をPRすることにより、当面は賛助会員の増強を中心に企業会員の増強を行っていく。



熱心に話を聞く研修会参加者